KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT

713
3123
14

特
3123
14

洛中濟穢之記

膝栗毛七編

全二冊

文化辰春新撰

十返舍一九著

書林 榮邑堂藏

道中膝栗毛七編 序

穆王八駿ヨ却て王母ガ桃ヲ共也。

美艷ヲ送法師ハ破ヲ。ひとゝヨ

名馬の功ヨうきてこそ仏ニ

ヲ乘花多ハ心の欲る所ヲ

隨ひ膝栗毛ヨのうゝ来るヨ。

四方よ奔走して果もなきハ。
八駿よりも勝てたのかるゝ。
の生嗤磨墨なるそハ十
うぢ川の岸ひもなきよ人
喰ひ馬よりも合口同士猪よ
猪の前ハこれ此栗毛

の徒なるずや。甲斐ぬ強何よ七
編の緒ぬ作者のなよ紀毛市も
よぶかうて筆ぬ揮ふ

文化百歳

長山人茶長述

春亭画

菊寿の七ツ子を
けんせんの
四貫ちゑをたゝき
柳平南
其角

述意

○洛陽の名所旧跡考るさふらひ多あるに予若年の比洛西に住し時あり〳〵上京して遍歩せしごとく十とせあまり以前のことなるゆへ覚えず忘れ失し今此編ふるき覚えを十が一にとゞめ侍りぬ

○偖こゝに僕浅学にして世あまねきを任せしが花洛にて唯用無のみなるのみならず一隅の同をとらんとせしごとくにて委しく考ずして妄説に逆もおぼえたるゆへ亦今の洛中洛外考りて四巻しあらまがはらをとゝのへ

おくれるさまもあるべし

○五編同英朱の部より中ごろまで物名別より抜とたせる事なれば中のあるむきもあるのむしみあるべしはゆゑ粗あらしさあれどもつざしもまんべんなるよう編ておよびがたき時上古の命ひとおとしを儲ものひとりごたうるぎもあるひて古のうぶれどもむをを得ぬ事の子が母に見しまをまねしてせこぬ故よりも編れるじくれもとれをさつしあるるるこゝし

○近ては世書みあるせし版本さまべ世にと

予 [illegible] 清聲 [illegible]
[illegible] 伝て [illegible] 聞べし [illegible]
[illegible] 毛 [illegible] 戈馬 [illegible] 他の
[illegible] 六編 [illegible] 邑堂の
[illegible] 冊中の [illegible] 伝記の
[illegible] あ [illegible]
[illegible] 千 [illegible] 葉 [illegible]
[illegible] 通あぶ町のみぐ橋

東都 十返舎一九誌 (印)

道中膝栗毛七編 上

十返舎一九著

或人の句に花咲る都より寺〻所〻弥陀八宮も
ちる花堂塔の古木大和尚 [illegible] 千年花盛葉茂
ちるはかもさくちるは。殊に花の盛りの秋い東
西南北よりくる僧尼の杖の柏の笠川久酒
の樽とそもふ人の袖をつば〻。高人のよき衣き
るハ他国に出ふして。京の花ぐされの名ハ益

女
蝶々や

十字亭
一雅
ゆけそ・子
菜
寺
一九

西陣の織元より出来いろの花やぎうは堺川乃
ふ唐く。金ぎんの杜しろふ川堺のかのこゆきを
あさむさた新堂の扇伏のうちまで風ふ香
堂あの稼。九山かるやきく大佛ち野郷の稲活茅
くく後の木芽清水庭洲法華よいちざるく。東寺
の芝生の芝ハ名物選まること。手水名屋
奇剣の品物あちこちある都まる多く八ちむ猪
あの女人活沢ふ嵯峨樹多ハて。ぬけまらう乃

別毛屋ままぶれ出られぶ。淀川の下り船ふかぐ
ちぶひくて荷物をそへ。出条新地の一ツぶん接照よ。
さや呑ぬして九稲ちなくくる。きく八の名ゆも似
ぶ。固行の絲沢くを傍ぶ本綿合羽を借名せ
わぶの使合ちあぶ。かる洛陽の地も出りろくぶ。
うくく。新地ちぶくの朝風既ふ出こりう。芦舎の
中ふさかくるま。巡ふいわく。牛若九の千人切
出こまくふ。あぶ。きくく八出不くく乗くふきて

このる　ぬいうし　ろう　ぬの　さぐ　ふて

年　慶　じゆめ　布子　こひしき

わくて　ぬ　ぐ　ろう　て　河原の向ひつ出八幡もまぐ

ごろ　ろ　て　る　陸ぶ　稲の　稔よひ　れて　ぐ　ゆく

ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ

名ごやうらを出て三ちつ大ちうひぐ〳〵まと二倍さむく
ちつこいめくまい　トちでちひるぐつゆくさなる。おくこれのつるぎや
いろはあくを出さなるふるぬのこぶるあせつく
あつきこハ出ちつえをてきて。ぬのこ一まいかくもんくこぐんの
ぬのこと〳〵ちつ出ちつまいくそこんのぬのことをとりてきつ〳〵又
ぬのこいくこぐ孫ちるまぐの〳〵ハイ〳〵ちちやへおちけなされ。
コレおちやかてこんこいな。おらこだこのちちもちないこいる赤
のひこちちやくくきんせ〳〵イヤそ茶もこぐこもいつやせん
コリヤアいくこぐこちのまは出〳〵ハイ〳〵そちまちやきあうとこう
ふぐこうまと。おやまこうしてあげふうこる〳〵ハイおちや

あぐうちきれは出〳〵出出。そこまちやおねこいぐやないこいる。
ちちせ。おつこいちちやあげんぐこい〳〵イヤ　おそさなぐ彩こいちや
ぐ出ぐやさこい茶ちちや樹なるくもつちちつてぐこうまと。
ちれこいきのこ樹ちまくまのちちでぐこうまをこいる
〳〵こいさなきのこのお蕎花ぐあつて。さんと河童の
屁のようぐこイヤ屁のこいでさ尾義ちぐこ出ていも
さんこまちるゆきこい。おこうとちちつく〳〵ハイ〳〵ちちを優へ
お出こいな〳〵せこちんこいぬるふいぐこうませ。能ようふこい

てゞやあつぞいな話。十二月。雪降と雖ども沸〳〵さぞい。
行〳〵れゝゞやてゝいんまのさえたゝゝゞさんでゝさういまぐ
行て見なされやつぱ〳〵煙ゞ出てゝゞやあつ〳〵むさい
ゝゝらふあつゞや〳〵ゝゝんなゝゝより此布ゝいいゝゝゞ。ゝゝゝく
きあてゝん稲へさもゝゝてゝゝゝられぬ。能おさもゝゝ。りつ
ゝゝゝちゝへよりなさめゝゝられゝゝゝいふよつ日ゞさゝゝてゝゞや
ゝゝらなゝ。きのゝもゝゝ。ゝゝゝゝあゝゝいよなゝさゝゝゝゝゞゝゝりやゝゝゝゝう
ゝゝい。ぬゝゝひゝゝちゞやてゝ。そこふ一日ひゝゝゝゞゝていゝゝれ

まゝゝゝゞぞのゝゝゝゝゞりゝゝゝゝ

ぐうとあれば。おちいさなも若い者なされてらいなら
ほうへ。貸せうだいさまちとあれば借らいな。おそう
なさるのう。金ちなさるのういうなあくのが此男の世うぞい
さまれぐうう。貸ふおくれ時の筆ものうしてかくらやア
うはまこそせぬ此ものとれぞふてもまをくよりあれ貸へ
めくう。郡内ぞうふうれやア換がいくるふいれぞや
ぞいな。後家の出ちやへかていても。金ちなかいめいい
ぞう。どうもとうのまへそんぞうをいふぞふて生方きれや

まうへ十二ちなかつくんるふ赤ちまい多へまれ
そもおめへ。老死ふうけなさるうけるまへふうろ
ても。あてやアちう紙へ。それよりう此男の殺引
の出会ぞふちなさる。そして拾の時がしもあるし。
それもおめへ。子ぞも京が脾胃虚して弱つてみるう人。
かうさなが疫病でちまれされば。佛うて葬礼を
出と工面が出来ぬと。うてのおるのこゆ貸てあげ
うものと義理のまるれ。ろそのて。此布子いその拾

のこふ品ろておきやせう〳〵とれはこふ
らふも多いてらてどやこいな。こぶ嘴がら疫病で
ちんぐでいる。あこけらいなこいんをこいな
こいる浜ゆ〳〵ぐあるも世間へくちぶこるくてちりやせんこ者
ちをせへこてこて伝角とめんぐうるこのぬのこも。きあ
あまけてやりをせへ〳〵よぐうまを朝高ひぐやま
けてあぎよこいな。レヤシ〳〵まぐへぬのこふあこいさ
ト浜ゆ〳〵浜代浜とえこいせ。の数のこをきて浜ゆ〳〵えこ本浜合船
をえこ〳〵浜代浜とえこいせ。の数のこをきて浜ゆ〳〵えこ本浜合船
ちちちゆ〳〵このめんをこれたここやこあるまおりひよりて

和義内こあまこあまこあまこの古布子

老一こえ子ゆたあこてきれ

これよりきここハい勿こえこ八ハ元をこて八ト浜次
さんききまぐこうう。古こ屋めをちゆこぐで。た
ぐこうて。きあまこ品ちこ品ちこ。やきこいりんぐ。品こ者せし。
まぐ矜垢もはの稲へかめこを八絣の番板こ品こて
おいこぐおこものよ品ぐ。てこぐどいこの八こ品ぐこらこ八
ゆこらこ八ぐこのぐこてこよ。いきこ品ぐぐちこくきこ八。

十字亭
一馬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

〆ヤレ〳〵きさ八。はめへのきものとるや。背中のよこちよる。
たまる紋服が。〆つゐていろ〳〵ア〆ごふく〳〵トふろうてよく見れば。
のがさをこんふそろる物のこゑ八ちろとろ見ろ見ろ見

みてまろさうい。ヒア お出なされ トテ人をあやうのをよひつぱり。
あがるくさぐきまだん来う。ちうを向ふさぐきのまへぐらく
入るかうもまくの内ゆそ。ゆうのあきんどぐま。こづうう
うぢ者くまんぢうよいうを。茶アあがうんうを。
ちゆうぞふぢやいるへだん付ゑ。ん人くぐぢぎふ大人ぐ。
ちうくゑぐの芝居の中分でも祝へア。ういうぐ。
一ッきんのうくちあうさへちうくア後がをうまの大根ぐ。
ても実てくをふ引ぐうう宇治山へんぐふづうう
ちゆう。猪をまさうせへ。まんぢうぐふぢゆうこういうが

いうちをうてかうコレまんぢう。ちりぢっくんを芝人
ハイくこえ。でぐうまを。こうさぐコレまんぢう
やきん。ぐくうちんぐやぐいこちの矢留をくうぐやぐ
ハイくおゆしをされアイタくく。どうぎふ是をあんぐ
ハイとれへモシちくおゆしをされコリヤぐふ者ア。
人のあさまのうへと。金をとひきぢうてこをうア
ぐる。ヲくきくく。ごうさぐきのうきくへ。ヲ接へきん。
ぢうをうておゆしぐをへちくう。清さん。祐てぎやあう。

ヨとーや。今あとの技（さじき）あで。ヨ。こりゃ味（うま）のくて
ぎやさらい。ソレ　ヨをぬて。（き）おそろことろる。（サア〜と）（は）
ヨいヨ　かんどやト（外の皮）（ごとを）（ハア）（鞘）（さや）のさきどうる。コリヤ
きよさい〜。その（やう）ハ弁当のうりあて。さうヨハ（おかず）
ヨどて。酒のさうヨ　ふさんせ。それがよいヨいヨ（さよ）
ぎや。竹の皮（かわ）ハ　ちらんで。草履（ぞうり）のそヨをくうそる
ヨどうヨ。イヤヨ　ヨよ。一重（ひとへ）やろうヨ。ト（ちうさうちうくと）（ちうさうちうくと）
みー。ろろうろうこうでの（出）ふろまきふつ
ゆハとをとをとを

あろ。そなたとひろ。あぐうんの合　ト ちやうんをとぎ
きこえ八ま ふれよう
ちやうきそ　ハイ　あうがこうざ　ぞんやをそ　まろ〜。さあへせん
うの合。モシ　おてらどの。そなたあぎとうの合　ト 茶やのごぜん
をきこえ八ま
ここまでハ。かけあうてそうけよう
ついでのあぶやうひ茶をう
ちやうハ
ハ　ちやうぞそうあ合ぺつぺ〜
おぬるあうこうぞやあろ　ハ　ちやうぞそもぬるん茶よぞふぞ　ぞへ
ついで
その　陸利のをうめてトさうませ　ハ　ちやうぞ。コレ
ちやうぞ
ハ　ちやうぞ
ハ合　されと合いよあろこうとうの合　ト　そうろうをさうさる合
あてて　ハ　せる
どうさうしあどよ　ハ　いめ　ハ　ちやうぞ　ハ　ぞんぞ　ハ　ぞんぞ　ハ　ぞん

芝居ハ四条鴨川
西東ゆゑ〳〵永禄
年中ハ江戸の浪
人名古屋
三左衛門とゆすりの出雲の
お國とゆふ風流女〳〵かゝる
歌舞伎と名付て男女立交
狂言をゑゝ北野の森祇

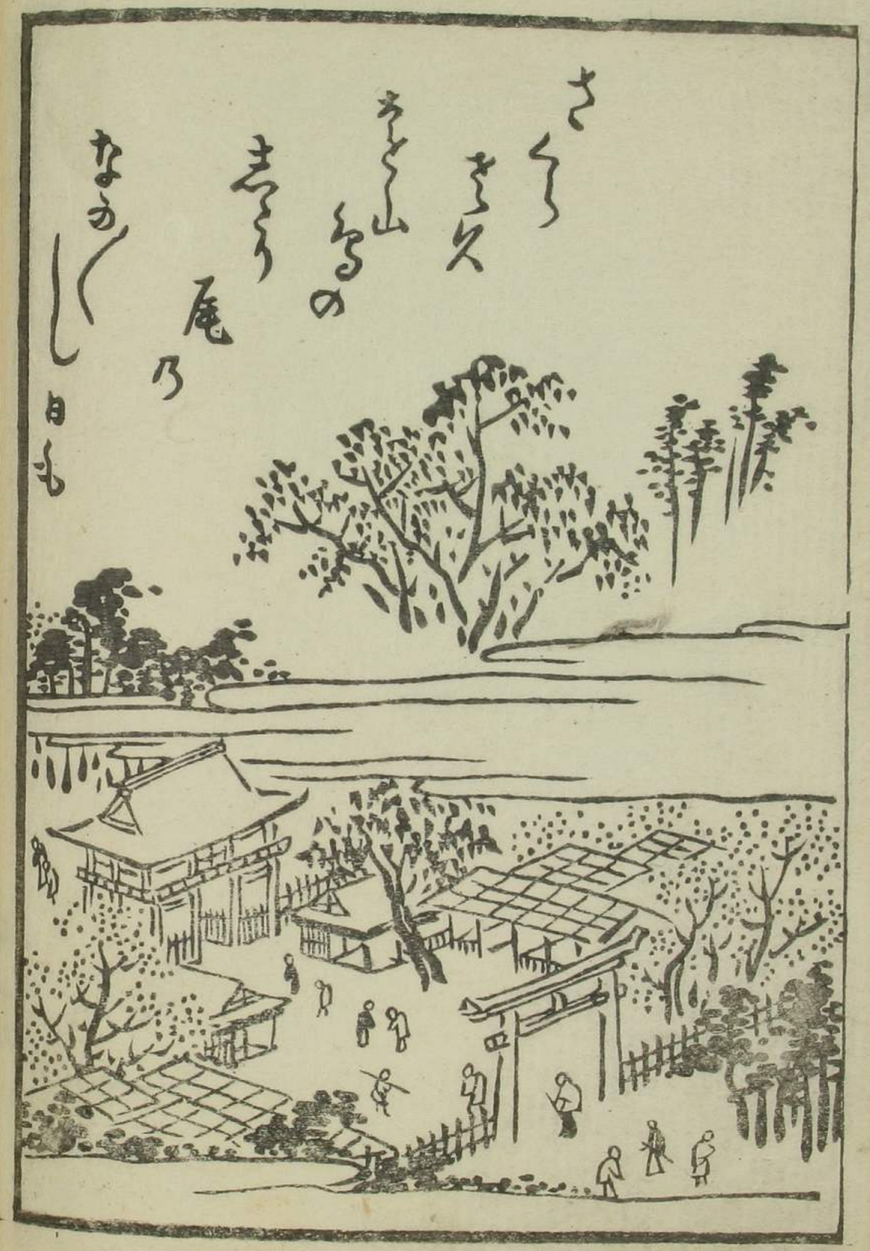
笠の菊の林五条河原ゆて
奥へ行〳〵そ後中
絶して第廿二年ゆ村山又玄情し
ゆの四条〳〵中嶌ゆて
再興〳〵又櫂手四条の小ゆ
うし原ゆ宛文
多中今の地ゆ
〳〵て
常芝居〳〵ある

よびうるを　ア　ト　きこハをうらふ　そこ　ごこ　ゆ
ハとハぢらすて　イヨ　ヒ目　祿さ　ア　うろくとらふ　ア　ど　ゆ
いふぢうきけとらふ　ゆ　ゑ　きこハこん　の　ゆ　ことを　きそとる　ゆ　ア　ゆ　ん　ぢ　ん
きてるふちあてうくらふ　ゆ　れ　ぢ　きこハうろくのうけを　ま　ゆ
ハ　イ　活　ぢ　ま　ん　きらうころ　ち　ち　の　役　者　ゆ　い　ろ　く　の　へ　ん
ち　ぢ　ま　ア　ぢ　ある。大　根　ぢ　の　青　菜　ぢ　の　ぢ　よ　り　や　俳
ゆ　ア　ア　ア　ある　め　イ　大　ア　ま　役　者　の　俳　名　ぢ　ろ　う　ハ　そ　ん
ア　ア　ア　今　ゆ　ま　役　者　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア
ア　ア　ア　ア　ア　ア　ア

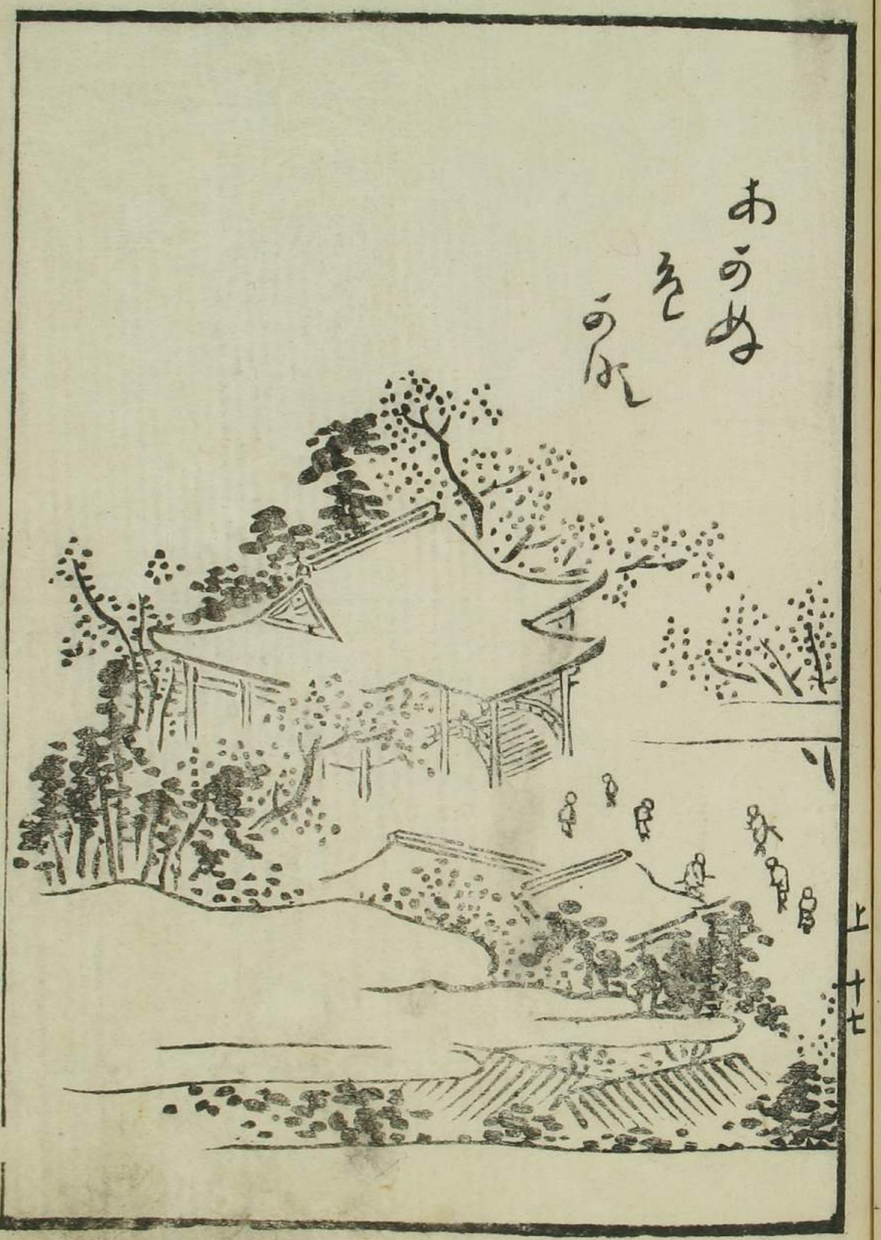
ゴリヤ　ごぶさろ　おまの社の鉢ヶ山。ちち
どんせ　ろうさ　いつもせヤイ　なふぬらさやアゴ　ハテ
よいこの合コリヤ　きまるぬらちは男をごぶさる　イヤおま
いもどんせく　トかうとちふつあげ　ふくきおろ〳〵　ちぐふ　ぬの
ぐてめんどうぶ　ぬくとぶ　ぬくちやまるめ〳〵　ぬそのぎまあぐ　ぜんろ
ぬぬをぬぎぎんまちのろふおもめ〳〵　どうさしをハ〳〵
木戸　渉と　持ふ　出るの　布るふて
出でぬも　紐のぐんをふせ〳〵
それようゆき〳〵。雅楽の社ゆるる。中英

大政不牛跌天皇。東の間へ八王子。西の間へ稲田姫
風武て。其の出宮。岩備。出雲より保多の
時。擂磨の屋の峯。宝蔵〳〵ゆふを出宮なるろ〳〵
いつ。其の外　桜社　赤社　ろるをふいろ及あるぞ。三月日
日小雅集〳〵。茶屋　赤屋　雅楽を多あの匂ひる
く。出雲うの屋合　板。雲平のいひて。うき世
りの赤　能行　公　況　肉　ふせ　まで　うちくろう。
うちもさもぐ　ぬ　ものおもむき　威和京〳〵乃
あふを　旧紅　ふ　ふ　ふ

さくら
さくら
さくら山
さくらの
さくら
尾
乃
なかくしらぬ



あのぬ
を
のな



ことぐく考へたいせ。南の方横ついを出し。二けんぢや金さうふでんくの
めいぶつ。そしてあらまくぶれ。こうるさ女どもあぶの。ぐどふこそて。しやべるる

「おまをとこうるされく。これ人おまをうるさうんらいる。ここナ
おまをくるさうんらいる。ア。ア。とくが川柳貞ふこうふ切ル
新ふぎをんの人ぐうこうこうこ

このくまを「ハイ」かーこうまーと
「ハイ」おでんが出けまーす「ハイ」ところが変な田くまぐ「ハイ」ぜんを二ぜんにめ
ぢもでんぐくを持出
ひきでやるる。おむーの人見今「ハイ」でんぐ「ハイ」ところてぐ
「ハイ」いふさ殺人を出をきてぐ「ハイ」ぐいとて。田舎へまこうぐて
いどゃア稲へ。サア一ぱい。ぐ「ハイ」ぐ「ハイ」ぐ。なるなぐ
いぐ。ぐっぱ。ぐて稲ぐのあぬ。ちゃぐ「ハイ」ぐ「ハイ」ぐ
よよ「ハイ」こおめへ。でをいひなぐ。ひとでのむのちく
きうち人よて稲人「ハイ」ぐ「ハイ」ぐこれでいうぬ。もとく

ぐでさるをひうぐ「ハイ」ぐ「ハイ」ぐトヤぐてきぐ「ハイ」ぐこの祝ぐこ八
ぐを持ある
いこうぐ「ハイ」ぐ「ハイ」ぐ祝ぐみ中でぐさうまを「ハイ」ぐこうこ八ぐ
「ハイ」ぐ。うちあ「ハイ」ておきや。あんまり出ぐくちゃアぐる
高
とおまこぐ出ぐ毎うせてゆる仕ぐ法ぐある。トぐんぐ。ぐうを玉
きてゆこぐけのの「ハイ」ぐ。きぐぶちのねぐんを
のこうぐこうひあるひて「ハイ」ぐ中動宮ぐこみこまを「ハイ」ぐ
こ出へトうきうけをこうふ「ハイ」ぐこまを「ハイ」ぐ
「ハイ」ぐドこぐ。ふ八ぐや。ぐうとこふぐ
はまるぐ「ハイ」ぐヨヤ。ぐ指ぐ祝ぐみ中トこアぐこうせへふ「ハイ」ぐこ。
祝ぐまぐこひのうめ。「ハイ」ぐ「ハイ」ぐさんまけて世ひるせへ「ハイ」ぐヤ

やまんかのごとくなるをかつてきるなり。サテ〳〵きてこは。よの
物ぐでできること。これをみる。持てゐるのぐぜ。トきぐうがこ大ひらぐんぐう
なぐをこうるたるなぐをゆてつ。ハ。ゆきぐうぐつけるゆへきてこハ。ゆ
中。コリヤア。こうなり。かつてゐるうちをそ。イエそれハ。ハテ
きうきふ。ゆぐんぐうハいくうごときうつ。ホトごという
こどもア。ゆくうて。ゆぐこハこうべ。ゆなホトごと
いふよ〳〵。大ア。ゆこうなよ。ゆ。ゆ。ゆきうこれぐ
こうホトこ。きうゆぐうふちぐへハあるめへそこで

メこうゆぐ。ゆぐ。ゆ。ゆ。ゆ

まあ（婦）十二ばかりのこどもが出るとかんざ（婦）トあるいてゐるこどもを
ちらるゝかと（婦）そうよう出（婦）ハイとれば（婦）あるこの出家よごぞうまを。お
かちるさんぬませ。そのかわり。乃々の代物いとぐぞき
まいらぶ。あぐるものおもちひ。まぐいでぎまうせ（婦）
んとらう。それと出家（婦）きやうまを（婦）るわどく
らのものぞ。とうで来れてある。そうひやせう。いとうぶ
（男）ハイ（婦）小ぶみトでどまうまをとうまうまを（婦）
も強とそとうぶ。おいうを。やうを。ぶりかりのこれを。こうと

ろ石ろくが石がものとうのせてからで。大とれとこをを
ぬうきやアぐる。（男）ハイヤアうとこうをで八。ぬぐやあろく
おさうみへ大坂うう歩りぞ。ろうよせまをきうい。
ざうん
弦貸ぐろうかをまをきうをいをれふ（婦）
もしてやろうぶ。あとを物ふうぶ。あれてあるアリ。たぐ
物さ。菜のきてかのへいうふつく（男）ハイあれうを
ちるかト（婦）ヤアあれぶちるかとアあんまうくを
うむけふきやアぐる。三人ぶ乃々ぶ（男）そうをいふ

おつまりまとる。あやまるの名前で。ちゃ茶と
ヤまちがいの。こゝ〳〵方でハ別ふつらせまして。
毋のこと茶ハのけまとる。そゝて茶もふん
ハそれのるいやうふ搗物〳〵てあげるこらの。むさん
おたゝ子〳〵おやゞ。番ハも絡ごゝふ〳〵てうけまをハ
そんごこゝとの。そんゝこゝがあるかんゝ。他でもこゝと
ハの代い訳ハ。だうやろう男〳〵さよゞやろう
まをんこゝの。ハテ〳〵おゞ〳〵やをゝ。あゞこと

ものと孫ゝをおゞじやまうませト。はゝこゝふこゝろ。
こゝろて。さうあゝこ雲ゞ。こゝろゞ。ふゝ
あひて。大ゝこゝこゝこゝ。ゝ。ゝ。

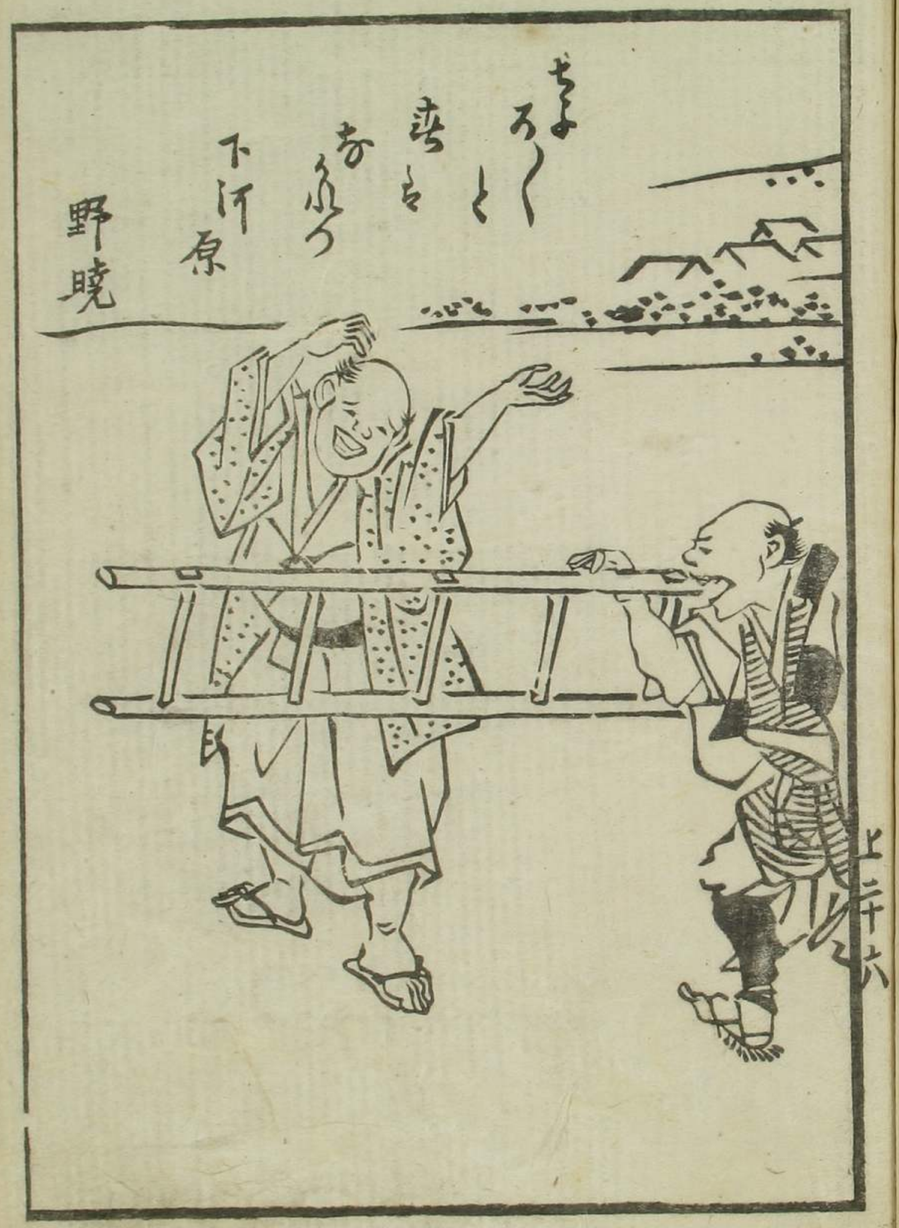
それより境内を出。すぐこの門前ごとうをゆくよ。
日もまやせいさぐ〳〵ちられべいそぎこまふ宮を
すぐ。見体ん〳〵ぐらゆくさるよちてを在
の女高人いづまも所ふ出来ず。あるひは持子連
ず。振ぐ〳〵といづきて。門ぐちの人ぢたれぐちにたちご
えちまんせんらいまやア。まんまらうんらいまやア
ア孫へぐうせ子ものをあるえへのつけてゆくふ
まこ屋をるざえいい〳〵〳〵〳〵

同あるなと。あるなでゝまへ〳〵さかのぐ（女）おまい
さんハ。うどん屋の杉（に）ひき者やあるゝ（侠）
ゑめ。ぶまゝてゐるゝへ（女）おまいさんぐさア。ぞふぞ（侠）
連（れんぎ）ゝ来ゝてゝ（侠）十二さゝゝ来ゝ。うい（ざ）
てゝ。ゴリやアゐゝそい。ゝゝちゝが雨ぐやア。ゑんでも抜（ゝ）
本のやゝゑ。そゝてゝ角ゑさゝゝ来でゑくちやア
るふあへ後へ（女）ゝゝ。ゝ角ゑゝゝ連来でゐむゝ
きゝんさゑゝ。大ゝさゝぐちも。ゝ角ゝぐやあゝ

ゝゝゝ（侠）そゐゑもゝくおいゝぐ雨ぐやア。穴（あな）蔵でみ
そゝさゝる（女）ゝゝゝきゑゝんゝきゑゝゑゝゑゝおゝゝぐや
ゝゝゑ。アノ連（れんぎ）来おゝやゑ。杖（ちゝご）子ゝゝておゝきゝん
ゝゝゑ（侠）ゝゝゝもゝどおゝゝいゝゝぐ（女）ゝゝゝゑゑも
ようゝんさゝい。安（やす）ゝてあぎよゝゝゑ。ゝゝふゝんせ
（侠）ゝ郎石だゝゝゑゝゝ。ゑゝさ（女）アノぢゑゝゝゝゝて
ぎやゝゝゝゝゑ。ちゝゝゝゝゝんせ（侠）ゝやゝく（女）お
まいさん。ゝゝいふあぢよゝてあゝゝゑ。モシゑゑ

ふあぎよういを（陪）いやく（女）よいこうみ。をすていん
ぐう。ひくうをよ。我ゐふまけこあぎよういを
（陪）（呵）
（ヤア）まけるう情を（きみ）いこうをきうやさん
ん（陪）ぐやこうを（陪）いくうやとくいても。たごを（ろ）豊て
ぐふさるかんぐ。内も（陪）稲（女）くらせま（女）よいこうをさ（サ）かて
いをんせ（陪）こいついあやまる。あうゆう。おいこう（ぎ）強の
ものでう（こよひ）ぐ有いこうをまよろうくいふのぐうを。
ごとうかてもきうくぐ稲（女）なふいうんをぐいる。

いくんものをつけきんをとこうをなんこうを（陪）ソやうふ。（ね）をを
つけぐふ（ふしやう）宵ぐう。いくう稲（女）りのでも。（こうり）殺ふふくこうをくをる
ものをう。（ろう）貴てもやうのぐふ。稲とうくもぐ。ぐをくごぐう
おこを（女）ぬるくくをぐやてこ。こをこくうらをちぐうんくくあう
いをちちや（しやうぐい）ちを貴ぐやこうる。そをいをこいゆぐや。かて
いをんせ　ト（女）せもををんくをくちぐふやふをくくをぐうちて。（陪）ぐふを
中ふをうきをせやこうる。をぐて（女）あきえんくふこうをいうて
きのつよをかのゆ。をうくぐうてんせぐ。かのこぐうい（陪）の人ぐち。稲ぐやうんく
ありをきうりてぐうりくこうをまくふ（陪）くくをぐ。（陪）ぐをくくをあげくくれもやぐ。大きふと
まうをてきをくぐやうひこうをくくくを。又をうこをこうくてんをもうつこうきうをめぐ。
あいてをこをを女のこをうりけんをかをもをくぐ。ぜんこをきくく。（陪）こをを生くして


野曉
下汁原

中ごろぐきもどをふとうぐくの足るまえ
きそうれもせざ足あどうとうらいて
めふあ八そとうまでういでられ弓さんごこく
さうこおめくりちをせをを又一ぜんをえごごもうる
いうふせん 柿まめの 釈く 古のよふる
あんかめをひきうけ〳〵ふい
かうて伊東ごうと。寺町へさうてゆくみちうくも。
柿子のもちおりうて。はぐあれるぐうこトきこハ
ふめ人 俗合をきうぬすぐ。ちうくぞうもてられうく

いうさふ。おめ人ぐうこふいひるうう。さのぐくみうる。
さぐおめこうる。そう者せへ。アノ女どものやうふ。あうをへ
きけてりつて足をせへるるねどうくトふ女どもの
のせ。ちをふもちをへ。ゆくくこうらいのくへゆりやちんぐあいを浮をてちうんをうる
ハイうくむうふぐ。さうこうう足猫であるうを一枚こうらいのくへゆりや
ぎあうりんぐらいくをあぐやふ。ふひやもて出や者んせんうる
者うりんうらいくをふ大るぐあるをあるをふるくくくくくへ。どこふ。ぎあうりんぐらいくぞうるくアレ
あこへ。をこぐどうていくをいる。あはよくくく俗ぬうくやア

あるこころ　ふやけるこころ　〳〵　イヤこのだうさくめら
トかをどをあるゑへのをとるふごろ〳〵やうゑばらの　こころの
やごのあくさえをそこころはう〳〵アイ〳〵ゆ　ゑのい
ぎめうをよなぶ　ゑ人中でながいかの様ゑゑ〳〵ふきんをろて。
ゑゑふあんぐうぎやなのうてんぐめいてこまをせめい　十二
ゑゑをぬゑきやアゑる　こころの　ひくい　えんぐ　家の　病　ゑふゑゑ。
ををゑゑ　ゑやないゑゑてちんせ　ゑ　おいゑゑ　ゑるゑ　ゑのゑ。
ゑるゑゑゑつゑゑる　こころの　ゑゑゑい　頭　ゑゑゑゑゑゑゑゑ
めい　トゑゑふゑゑゑゑゑゑゑゑ

ゆげんしさとれべあるあ〳〵人ふ乃者ゝれて之がめうれ世んうるくうぐこ弟る
きみらづうそうそうぞよとそんとあるりゆうちうるくと二五栗どをうふ来りうれべ
ゆぐ引く〳〵
乃そうる男〳〵モシテ　おゆいさうなぐうこおうるうるゆ〳〵
ゆぐ
〳〵とちめうちうる〳〵お出んうるゆ〳〵出あ〳〵ごとうぐ〳〵ツイ　あと
ぎうるうるサラ〳〵お出んうるゆ〳〵トうちうるを大ち一の
うるうゆく

道中膝栗毛七編　上終

12